



精神障がい者への退院支援に関する研究

保健福祉学部 看護学科

講師 近藤 美也子（こんどう みやこ）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3410号室
Tel 0848-60-1188 Fax 0848-60-1188
E-mail mkondo@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 精神看護

キーワード： 精神障がい者、地域移行支援、
精神科退院前訪問指導

● 現在の研究について

現在、厚生労働省は精神医療において、入院医療から地域生活支援主体の方向を打ち出し、精神障がい者の退院促進へ向けての取り組みを行っている。平成20年度の診療報酬の改定では、入院期間の長期化を予防するために、入院直後から退院支援を行うことができるよう対象者が拡大され、社会復帰の調整を行うための複数職種の訪問指導に対して訪問加算を算定することが可能になった。このように精神障がい者が地域で安定した生活ができるように退院支援のサポートが強化されている。そこで平成24年度、入院患者の退院促進と地域生活の定着を促すための効果的な退院前訪問指導のあり方について検討するために、広島県の某精神科病院において、看護師を対象に、退院前訪問指導の現状と課題についてグループインタビューを実施した。対象施設においても、先行研究と同様、多くの患者や家族が退院後の生活に不安を抱いているにも関わらず退院前訪問指導のニーズは低いという結果が得られた。また、マンパワーの不足による看護師の負担感や退院前訪問指導を実施しても患者が退院にならなければ看護指導料は報酬として反映されないというシステムの問題、急性期病棟では看護師が患者の精神症状の安定に力を注ぐ必要があり、退院に向けての取り組みがされにくい現状が明らかになった。一方で急性期病棟における退院前訪問指導が、慢性期病棟への橋渡しになることから退院前訪問指導の重要性が示唆された。

● 今後進めていきたい研究について

1. 研究対象施設を拡大して、精神科退院前訪問指導の現状と課題を明らかにしていきたい。
2. 困難事例に対応できるように、事例を通して精神科退院前訪問指導の実際を分析し、精神障がい者の特性に合わせた退院前訪問指導の方法を類型化していきたい。
3. 訪問看護ステーションの看護師や地域の保健師の視点から、精神障がい者の地域移行支援の現状と課題を明らかにし、精神障がい者が地域で安心して自分らしく生活できるような効果的な精神科退院前訪問指導の方法を検討していきたい。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

訪問看護師や地域の保健師、他職種との連携をとりながら研究を進め、地域のネットワークづくりと支援体制の整備を検討していきたい。

● これまでの連携実績